## 1. 基本情報

		T	
区分	市街地	担当者名	古米弘明、尾崎則篤、和田桂子
タイトル	Long lived radionuclides in the ecosystem of the Sava river		
(英文)			
タイトル	Sava 川の環境システムにおいて長期間残存する放射性元素		
(和文)			
キーワード	特に記載なし		
著者	Z. Vukovic, V. Sipka, D. Todorovic, S. Stankovic		
文献	Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, Vol. 268, No.1, 129-131,		
	2006		

### (1) 対象地域

Sava 川 (流域面積 95700km²)、セルビア

#### (2) 重要な図表

筆者らは Sava 川で河川水中と底泥中の放射能濃度を測定した。Table1 は底泥中の放射性元素濃度を示している。測定は 2001 年から 2003 年まで行われ、対象物質は <sup>238</sup>U、<sup>232</sup>Th、<sup>226</sup>Ra、<sup>137</sup>Cs であった。数字は放射能濃度の平均値と最小値、最大値を表しているものと考えられるが、サンプル数についての記載は見当たらなかった。

河川水中の結果については本文中に散見していたのでそれを Table2 に整理した。Table2 には、本文中に記載のあった、筆者らによる各放射性元素の分配係数計算値も付記した。

Table2 河川水中の放射能濃度と分配係数

	Concentration (Bq/L)	K <sub>D</sub> (L/Kg)	
<sup>238</sup> U	3.2-7.1(測定地点不明)	2-5×10³(測定地点不明)	
<sup>232</sup> Th	記載なし	$1.1-4.2 \times 10^5$ (Sava No.2,	
i n		Obrenovac)	

さらに他文献での分配係数の計算結果も記載があったのでそれも Table 3 に整理した。文献名も Table 中に付記した。

Table3 他文献による分配係数の値

	$K_{D}$ (L/Kg)
<sup>238</sup> U	$1 \times 10^3$ (At Spain, RODRIGUEZ-ALVAREZ et al., 2000)
<sup>226</sup> Ra	0.6-2×10 <sup>4</sup> (場所不明, 出典記載なし)
137 <b>Cs</b> 0.8-1.6 × 10 <sup>4</sup> (場所不明, DRNDARSKI et al., 1995, RODRIGUEZ-ALVAREZ et al., 2000, )	

# 2. 提言につながる情報

## (1) モニタリングへの活用

特になし

## (2) 流出挙動・経路

河川水中と底泥中の放射能物質濃度の関係について分配係数を用いて考察が行われている。

## (3) 除染の際の留意点

特になし

## (4) 担当者のコメント

筆者らは河川水中と底泥中のの放射性元素濃度を測定し、分配係数を計算することで河川水と底泥間の放射性元素の動態の考察を試みた。